

酒をめぐる地域間比較研究

吉田集而 編

2003

J C A S 連携研究成果報告は、国立民族学博物館地域研究企画交流センターを中心に推進している連携研究にもとづく成果を公開する刊行物である。連携研究は、国内の諸研究機関との協議のうえでおこなう共同研究プロジェクトを意味する。なお、この成果報告には、地域研究企画交流センターが主催した共同研究の成果も含まれている。

編集委員会名簿

刊行物審査 委員会委員長	石毛直道 (国立民族学博物館長)
	杉田繁治 (国立民族学博物館 副館長)
	石森秀三 (国立民族学博物館 民族社会研究部長)
	熊倉功夫 (国立民族学博物館 民族文化研究部長)
	栗田靖之 (国立民族学博物館 博物館民族学研究部長)
	中牧弘允 (国立民族学博物館 先端民族学研究部長)
	長野泰彦 (国立民族学博物館 民族学研究開発センター長)
	押川文子 (地域研究企画交流センター長)
	押川文子 (地域研究企画交流センター長)
	編集長
編集委員	足立明 (京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 教授)
	市川裕 (東京大学大学院人文社会系研究科 助教授)
	井上紘一 (北海道大学スラブ研究センター 教授)
	大塚和夫 (東京都立大学人文学部 教授)
	遅野井茂雄 (南山大学外国語学部 教授)
	齋藤修 (一橋大学経済研究所 教授)
	高木正洋 (長崎大学熱帯医学研究所 教授)
	田中耕司 (京都大学東南アジア研究センター 教授)
	富永智津子 (宮城学院女子大学国際文化学科 教授)
	西谷修 (東京外国語大学大学院地域文化研究科 教授)
	原洋之介 (東京大学大学院情報学環・学際情報学府 教授)
	松下洋 (神戸大学大学院国際協力研究科 教授)
	松林公蔵 (京都大学東南アジア研究センター 教授)
	小長谷有紀 (国立民族学博物館民族学研究開発センター 助教授)
	白杵陽 (国立民族学博物館地域研究企画交流センター 教授)
	山田陸男 (国立民族学博物館地域研究企画交流センター 教授)
	阿部健一 (国立民族学博物館地域研究企画交流センター 助教授)
	帯谷知可 (国立民族学博物館地域研究企画交流センター 助教授)
	村上勇介 (国立民族学博物館地域研究企画交流センター 助教授)

[平成14年5月1日現在]

JCAS 連携研究成果報告 4

酒をめぐる地域間比較研究

吉田集而 編

2003

JCAS 連携研究成果報告 4

酒をめぐる地域間比較研究

目 次

序 文	落合 雪野・赤嶺 淳	1
第1章 穀類の酒		
1. 中国の白酒の蒸留と酒花	高山 卓美	3
2. 酒になった穀物ならなかった穀物	佐藤洋一郎	23
3. タイ国の酒産業	寺本 祐司	39
第2章 糖の酒		
4. 熱帯アフリカのハチミツ酒の系譜 ——ケニア山麓での調査から——	安溪 貴子	47
5. 東南アジア島嶼部におけるヤシ酒文化序論	赤嶺 淳	65
第3章 乳 酒		
6. モンゴル族の乳酒 ——乳利用の進展に伴いカビ利用と訣別か——	越智 猛夫	83
7. 内陸アジアの遊牧民の製造する 乳酒に関する微生物学的研究	石井 智美	103
第4章 麴 酒		
8. 伝統酒としてのマッコルリ	鄭 大聲	123
9. もうひとつの麴酒圏 ——カリブ海麴酒圏——	吉田 集而	139
第5章 飲酒文化をめぐって		
10. 古代インドの儀礼における酒の使用	永ノ尾信悟	149
11. ウォッカの起源と民俗	伊東 一郎	167
12. 森林焼畑農耕民の酒造りと飲酒の機能 ——エチオピア西南部の事例を中心に——	佐藤 廉也	183
第6章 酒の未来 ——日本社会の変化とともに		
13. 日本の酒税制度 ——現状とビジョン——	西谷 尚道	203
14. これからの酒研究の展望	栗山 一秀	227